

資料5

平成30年度自殺対策に関する出前講座実施結果について

実施機関	回数		受講者総数 (人)	研修効果（アンケート結果） ※ 回収分のみ合計 (人)	
神奈川県	小学校	1回	346	非常に参考になった	124
	中学校	4回		やや参考になった	72
	中等教育学校	1回		ほとんど参考にならなかった	5
	高等学校	2回		全く参考にならなかった	0
	ろう学校	1回		無回答	15
	県立学校長会	1回			
	計	10回			
横浜市	中学校	5回	177	非常に参考になった (非常に役に立つ)	68
	小・中合同研修会	1回		やや参考になった (やや役に立つ)	67
				ほとんど参考にならなかった (ほとんど役に立たない)	1
	計	6回		全く参考にならなかった (全く役に立たない)	0
				無回答	-
川崎市	小学校	1回	52	非常に参考になった	6
				やや参考になった	40
	計	1回		ほとんど参考にならなかった	0
				全く参考にならなかった	1
			無回答	3	
相模原市	小学校	2回	58	非常に参考になった	27
	計	2回		やや参考になった	24
合計		19回	633人	ほとんど参考にならなかった	1
				全く参考にならなかった	0
				無回答	0

平成30年度自殺対策に関する出前講座実施結果

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)											
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収率 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10
神奈川県	6月11日(月) 15:20～16:50 座間市立東中 学校	教職員	35名	「思春期の心 (Ⅱ)」思春期に 多い問題行動に ついての理解	株式会社つるがみね グループ 鶴ヶ峰心 理グループ 代表取 締役 ヴィヒャルト 千佳こ (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	教職員30 名 (86%)	20代 7名 30代 7名 40代 4名 50代 4名 60代以上 1名 無回答 1名	男性 19名 女性 11名 無回答 0名	学級担任 15名 児童生徒 4名 指導担当 1名 教育相談 1名 学年主任 3名 養護教諭 1名 校長 1名 副校長 0名 教頭 0名 その他 7名 無回答 0名	ある 7名 ない 23名 無回答 0名	1回 2名 2回 4名 3回以上 1名 分からない 0名 無回答 0名	十分にある 1名 少しある 9名 やや不足 6名 全く不足 14名 無回答 0名	非常に増えた 23名 少し増えた 7名 変わらなかった 0名 無回答 0名	非常に参考になった 24名 やや参考になった 6名 ほとんど 0名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 0名	とても必要である 22名 やや必要である 8名 ほとんど必要な 0名 全く必要ない 0名 無回答 0名	・発達障害など、予想とは違う切り口から自殺についてお話が頂けて、大変参考になった。自殺予防につながる普段からの声かけや関係づくりについても学べて大変良かった。 ・発達障害における生きにくさ、それが自殺につながるものがわかった。発達障害に対する知識を対処法も含めてもっと深めていきたいと思う。 ・それぞれの立場で予防支援の講演、お話しありがとうございました。どの情報も明日から役に立ちます。
神奈川県	6月29日(金) 13:30～15:00 県立平塚ろう 学校高等部	生徒・教職員	教員20名 生徒 53 名	「思春期の心 (1)」自分 の心との向き 合い方 ストレスの解消と SOSの出し方等 について	湘南精神保健福祉社 事務所 長 長見 英知 (精神保健福祉士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	20代 1名 30代 1名 40代 1名 50代 2名 60代以上 1名 無回答 0名	男性 1名 女性 5名 無回答 0名	学級担任 4名 児童生徒 1名 指導担当 0名 教育相談 0名 当 0名 学年主任 0名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 2名 その他 0名 ※複数回 答あり	ある 2名 ない 4名 無回答 0名	1回 1名 2回 1名 3回以上 0名 分からない 0名 無回答 0名	十分にある 0名 少しある 2名 やや不足 2名 全く不足 1名 無回答 1名	非常に増えた 0名 少し増えた 5名 変わらなかった 1名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 0名	非常に参考になった 3名 やや参考になった 3名 ほとんど 0名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 0名	とても必要である 5名 やや必要である 1名 ほとんど必要な 0名 全く必要ない 0名 無回答 0名	・生徒の様子を後ろからできる限り注意深く見守っていたが、集中して聞いていて、自分を振り返りながら、ある程度理解が進んだのではないかと思います。 ・友達同士のことでもどうリアルタイムに参考になる事柄でした。SNSも同様です。相手の受け止め方、捉え方が重要であることをもう一度クラスにかえて話し合い 確認していきます。	
神奈川県	7月10日(火) 9:10～10:50 かながわ県民 センター	県立学校長 会 議人権教育研 究会	県立学校 長 8名	「家庭生活の問 題」 問題がある家庭 に育つ思春期 の子供の心情と具 体的な対応方法 や支援	株式会社つるがみね グループ 鶴ヶ峰心 理グループ 代表取 締役 ヴィヒャルト 千佳こ (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	20代 0名 30代 0名 40代 0名 50代 5名 60代以上 0名 無回答 0名	男性 3名 女性 2名 無回答 0名	学級担任 0名 児童生徒 0名 指導担当 0名 教育相談 0名 当 0名 学年主任 5名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 0名 その他 0名 無回答	ある 4名 ない 1名 無回答 0名	1回 4名 2回 0名 3回以上 0名 分からない 0名 無回答 0名	十分にある 1名 少しある 2名 やや不足 2名 全く不足 0名 無回答 0名	非常に増えた 1名 少し増えた 4名 変わらなかった 0名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 0名	非常に参考になった 4名 やや参考になった 1名 ほとんど 0名 参考にならなかった 0名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 0名	とても必要である 5名 やや必要である 0名 ほとんど必要な 0名 全く必要ない 0名 無回答 0名	・基本的なことも確認しながら学ぶことができた。管理職や教育相談コーディネーター、養護教諭だけでなく、多くの教員に知ってもらいたい内容だった。 ・発達障害だけでなく、高校ではあまり認識されていない愛着障害の生徒への対応や支援についても、校内研修等で伝えていくことの必要性を感じた。 ・具体的な事例を聞きながら、あらためて命の大切さを思いました。また、実際の指導場面で学校ができることをもっと発信しなければと感じました。児童生徒の毎日の様子を、いっそうきめ細かく把握して対応しようと思いました。	

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)															
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収数 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10				
神奈川県	7月20日(金) 15:00～16:00 県立横浜南陵 高等学校	教職員	教職員44 名	「Ⅱ自殺対策基 礎編」 自殺対策のため に個人ができる こと	湘南精神保健福祉士 事務所 所長 長見 英知 (精神保健福祉士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	教職員34 名 (77%)	20代 14名 30代 6名 40代 2名 50代 8名 60代以上 4名 無回答 0名	男性 23名 女性 11名 無回答 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答 ※複数回 答あり	14名 0名 0名 1名 1名 1名 1名 1名 14名 2名	ある 13名 ない 21名 無回 答 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	7名 2名 1名 3名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 16名 13名 2名 3名 無回答	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	9名 11名 ほとん ど 22名 1名 2名 無回 答	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	14名 16名 1名 0名 3名 無回 答	・教員として、最も難しく、最も大きな問題であると感じました。自分で判断せずに、「受容」することが大切だとい うことがとても参考になりました。口癖のように「死にたい 」という生徒もいます。日頃の言動から注意をしてく きたいと思いました。貴重なお話、ありがとうございます 。 ・「チームで取り組むこと」の大切さを再認識しました。 ・一方で、現場の先生方でも精神疾患や自死への無理 解があっても構わない気持ちを感じます。このような研 修で少しでも考えを改めてほしいと本当に思っていま す。 ・生徒だけでなく、教員の心のケアにも役に立ちました。 「カーブス」を大切に対職員への対応をすすめて参り ます。 ・重い話でしたが、大切な話を聞くことができました。教 員として、一人でも多く役に立てるように今後も勉強し ていきたいと思いました。ありがとうございました。
神奈川県	8月3日(金) 10:00～11:40 寒川町立 旭が丘中学校	教職員	24名	「思春期の心 (Ⅱ)」 思春期に起こり やすい行動や心 理と希死念慮・ 自殺企図への対 応	鶴が峰心理グループ ヴィハルト千佳氏 (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	19名 (79%)	20代 8名 30代 2名 40代 2名 50代 4名 60代以上 3名 無回答 0名	男性 13名 女性 6名 無回答 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答 ※複数回 答あり	11名 1名 2名 1名 1名 0名 1名 2名 0名	ある 8名 ない 11名 無回 答 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	6名 1名 0名 1名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	1名 4名 10名 4名 0名 無回答	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	9名 4名 10名 0名 0名 無回 答	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	14名 4名 0名 0名 1名 無回 答	・事細かく事例とあわせて話してくださったので、より身 近な問題として考えるきっかけになり、「見えてこなければ OK」というものではないと改めて感じた。 ・本校でも、生活アンケートを定期的にとっているが、そ の大切さを感じた。今後もちよとした生徒の変化を注 意して見ていきたい。 ・具体的にどのような形で生徒と関わったらいかががわ かりました。 ・先生のお話を聞いて、改めて「親に言わないで」に感 動されず、学校での全体共有、親への連絡、連携の重 要性がわかって、自信を持ってやっていこうと思えまし た。自傷の子と話を聞いていくことも工夫をしながら頑 張っていこうと思うことができました。ありがとうございました。
神奈川県	8月21日(火) 10:30～12:00 秦野市立南中 学校	教職員	25名	「思春期のこころ (Ⅱ)」 不登校にかかわ る問題、その対 応について	鶴が峰心理グループ ヴィハルト千佳氏 (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	11名 (44%)	20代 3名 30代 1名 40代 2名 50代 4名 60代以上 1名 無回答 0名	男性 5名 女性 6名 無回答 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答	6名 1名 0名 1名 0名 1名 1名 1名 0名	ある 11名 ない 0名 無回 答 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	3名 6名 2名 0名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 8名 3名 0名 0名 無回答	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	5名 2名 5名 1名 0名 無回 答	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	10名 1名 0名 0名 0名 0名 無回 答	・自分のクラス、自分の学校では自殺は起きない。他人 事のように若い頃は思っていた時もあった。今の時代、 どの学校でも起ることが考えられる。職員には、常に 危機意識をもって生徒にあたってほしいと思う。この研 修は毎年できたらと考えている。 ・教員としてできる限り頑張りたいと前向きになることが できました。力をいただきました。ありがとうございました。

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)																			
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収数 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10								
神奈川県	8月23日(木) 13:30~15:00 県立平塚中等 教育学校	教職員	43名	「思春期のこころ (Ⅱ)」 自傷行為・自殺 行動について	横浜市立大学附属病 院 藤田 純一氏 (精神科医師)	ねらい通りの 効果が認めら れた	23名 (53%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	2名 6名 4名 8名 3名 0名	男性 女性 無回 答	7名 16名 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答	8名 1名 0名 1名 2名 0名 0名 0名 9名 2名	ある ない 無回 答	10名 13名 無回 答	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	5名 1名 2名 2名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 6名 10名 3名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	5名 17名 1名 0名 無回答	10名 8名 0名 0名 5名	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	12名 4名 2名 0名 5名	・自傷行為を日本の子供たちは10人に1人程度経験し ていることを初めて知りました。自傷行為は一時的なス トレス発散でしかないと感じ、抱えすぎたストレス をどう支え、減らしていくかとても難しいことだと思 いました。 ・仮想事例、ワークショップがとても参考になりました。 同じような事例がいつ起こってもおかしくないため、あ らかじめ、色々なことを想定し対策を立てておくことが大 切だとわかりました。 ・「自殺」という言葉に振り回されてしまいます。先生の 言われたように「自殺企図」がどの程度なのかの判断 (自殺に向けての準備等、行動や言動の変化に注意す る事等勉強になりました。が、とても難しいことだと痛感 しております。
神奈川県	8月24日(金) 13:30~16:40 山北町立 山北中学校	教職員	17名	「家庭の問題に ついて」 問題がある家庭 に対する支援と 学校の連携の取 り方について	鶴が峰心理グループ ヴィヒャルト千佳氏 (臨床心理士)	ねらい通りの 効果がやや認 められた	17名 (100%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	3名 5名 3名 4名 1名 1名	男性 女性 無回 答	12名 5名 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答	6名 0名 0名 3名 0名 1名 0名 1名 6名 0名	ある ない 無回 答	5名 12名 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	0名 2名 1名 1名 1名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 6名 10名 1名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	2名 14名 1名 0名 無回答	2名 12名 2名 0名 1名	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	9名 7名 0名 0名 1名	・具体的な事例、親と子の関わりの大切さ、子への支 援、関わりを継続的に続けることの大切さを学びまし た。また、他の機関と連携することの大切さも再確認で きました。ありがとうございました。 ・すごい事例をたくさん知って共感していました。 ・ヴィヒャルト先生の話、とても共感できた。普段、思っ ていることをはっきりした言葉で確認できました。ありが うございます。
神奈川県	11月5日(月) 15:00~16:30 二宮町立 二宮小学校	教職員	17名	「思春期の心Ⅰ」 前思春期の対人 関係のトラブル 解決に向けて	鶴が峰心理グループ ヴィヒャルト千佳氏 (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	17名 (100%)	20代 30代 40代 50代 60代以上 無回答	9名 0名 2名 3名 3名 0名	男性 女性 無回 答	10名 7名 0名	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答	10名 0名 0名 1名 0名 1名 0名 0名 5名 0名	ある ない 無回 答	3名 14名 0名	1回 2回 3回以上 分からない 無回答	1名 0名 0名 2名 0名	十分にある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 2名 11名 4名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 全く参考にならなかつ た 無回答	11名 5名 0名 1名 無回答	14名 3名 0名 0名 0名	とても必要であ る やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	12名 5名 0名 0名 0名	・ゲートキーパーの存在や役割について、初めて学ぶこ とができました。 ・リストカットへの適切な対応の仕方を学ぶことができま した。 ・いじめをされている子どもに対して共感的な対応が必 要であることを知りました。 ・優しい声かけが大事であり、先生は味方であること、 よく話を聞いてあげてくれることを心がけたいと思っ た。 ・心配な子への一瞬の声かけで孤立させないというこ と。

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)											
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収数 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10
神奈川県	1月7日(月) 13:30~15:30 柏木学園高等学校	教職員	60名	「思春期の心」	鶴が峰心理グループ ヴィジュアルト千佳氏 (臨床心理士)	ねらい通りの 効果が認めら れた	54名 (90%)	20代 5名 30代 14名 40代 17名 50代 13名 60代以上 5名 無回答 0名	男性 41名 女性 13名 無回答 0名	学級担任 31名 児童生徒 3名 指導担当 0名 教育相談 0名 学年主任 5名 養護教諭 3名 校長 1名 副校長 1名 教頭 2名 その他 11名 無回答 1名	ある 13名 ない 41名 無回答 0名	1回 7名 2回 4名 3回以上 2名 分からない 0名 無回答 0名	十分にある 0名 少しある 8名 やや不足 28名 全く不足 20名 無回答 0名	非常に増えた 30名 少し増えた 22名 変わらなかった 0名 全く参考にならなかつた 2名 無回答 0名	非常に参考になった 34名 やや参考になった 13名 ほとんど 13名 参考にならなかった 3名 全く参考にならなかつた 0名 無回答 4名	とても必要である 35名 やや必要である 13名 ほとんど必要な 1名 いや 0名 全く必要ない 5名 無回答 4名	・自殺行為・自傷行為のある生徒の対応が具体的に聞けて良かった。 ・あまり叱るのではなく、共感する事が大切だとわかりました。 ・声かけの方法や言っているはいけないこと等、よくわかりました。 ・今まで自分なりに正しいと思っていたことが、実は正しくないことに気付きました。奥が深いので、今後、知識を深めていきたいと思いました。 ・自殺願望のある子どもは、とにかく人に認められたいと考えていることがよくわかりました。どんなことでも、ほめて声かけをしていきたいと思えます。 ・まずは善悪をハッキリさせなくてはならないと思いましたが、対象となる生徒に共感するということが参考になりました。 ・保健室来室者の8割位は発達障害を持つ生徒です。思春期の難しさと親との関わり方、自傷行為への対応等、すべてが明確で、日々の生徒対応の参考になるお話ばかりでした。本当にありがとうございました。 ・自殺に至る子どもの特質と具体的な予防法(手立て)を知ることができた。
横浜市	8月24日(金) 9:40~11:30	横浜市立若葉 台中学校・若葉 台小学校教員 (小・中合同研 修会)	40名	思春期のこころ の理解とその行 動への対応/自 殺の現状・教師 が知っておき たい自殺予防	こころの健康相談セ ンター職員	ねらい通りの 効果が認めら れた	28枚 (70.0%)	20代 12名 30代 7名 40代 4名 50代 5名 60代以上 0名	男性 11名 女性 16名 無回答 1名	学級担任 18名 児童生徒 1名 指導担当 0名 教育相談 0名 担任 2名 学年主任 2名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 0名 その他 5名	ある 9名 ない 19名 無回答 0名	1回 3名 2回 4名 3回以上 2名 分からない 0名 無回答 0名	十分にある 0名 少しある 7名 やや不足 18名 全く不足 1名 無回答 2名	非常に増えた 9名 少し増えた 18名 変わらなかった 1名 全く役に立たない 0名 無回答 0名	非常に役に立つ 13名 やや役に立つ 15名 ほとんど役に立たない 0名 全く役に立たない 0名 無回答 0名	とても必要である 19名 やや必要である 4名 ほとんど必要な 3名 いや 0名 全く必要ない 0名	・9月夏休み明けになると毎年マスメディアで話題になる学生の自殺問題。本日は改めて考えさせられました。 ・子どもとの関わり方をより工夫していきたい。 ・自殺に対する研修は受けたことがなく知らないこと、考えたこともあまりなかったことも多かった。もつと知らなくては、と思いました。 ・小中合同ということで、目の前の子どもの様子より上へに感じた。でもいずれ、小学生も中学生になる。成長した子供達を思い浮かべてきました。 ・身近な経験がないことから自殺の捉え方はかなり希薄だと感じた。しかし実際に身近な経験をしている人や思いを持っている人がいるということをお忘れとはいけないと思った。 ・家庭への支援は、学校だけでなくもっと大きな組織で取り組んで欲しい。 ・小学生は自殺について知らない子どもも多い。そんな中、自死について説明すると、世の中、自死というものがあるのかとそこで知ってしまう手もあると思う。指導(未然予防)の仕方が難しいと思った。

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)																		
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収数 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10							
横浜市	3月1(金) 15:00~16:30 横浜市立東鴨居中学校	横浜市立東鴨居中学校	25名	思春期のこころの理解	つるがみね心理グループ ヴィジュアル千佳氏	狙い通りの効果が認められた	22枚 (88.0%)	20代 5 30代 6 40代 8 50代 3 60代以上 4	5 男性 14 8 女性	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他	11 2 0 3 0 1 0 0 5 0	ある ない	1回 5 2回 4回以上 分からない	1 1 1 2 1	十分にある 少しある やや不足 全く不足	1 6 9 6	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった	8 10 3	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	20 13 0 0 0	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	20 2 0 0 0	・意識を向け続けるための上手い声掛け、雰囲気づくりをしていきたい。 ・思春期のこころのありかたが、非常によくわかった。 ・表面では笑顔でも心の中では悩みを抱えている人がいると思うので、ゲートキーパーになりたいと思う。 ・とにかく全員ができるレベルでやっていくこと、周りに共有しながらやっていくことを大切にしていきたい。 ・一人で抱え込まないのは子どもも大人も同じ。教職員がチームで子どもたちの心をサポートしていきたい。	
横浜市	3月14日(木) 15:00~17:00 横浜市立宮田中学校	横浜市立宮田中学校	12名	思春期のこころの理解	カウンセリングルームセンター南 所長 梶山 亮	ねらいどおりの効果が認められた	8枚 (66.7%)	20代 2 30代 2 40代 0 50代 4	2 男性 2 6 女性	学級担任 児童生徒 指導担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他	3 0 0 1 0 0 0 0 3 0	ある ない	1回 2回 3回以上 分からない	2 2 0 0	十分にある 少しある やや不足 全く不足	0 2 3 3	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	6 2 0 0	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならなかった 全く参考にならなかった	8 0 0 0 0	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	8 0 0 0 0	・生徒への接し方はもちろんだが、家庭や職場の中での人間関係やコミュニケーションで大変役に立つ。 ・世の中の変化が激しく子供の生活も昔と大きく変わっているため今日のような研修を継続的に受けるべきだと思った。 ・自衛行為から離脱できたケースを知りたい。 ・教員として経験年数が浅くてもできることを一つずつ考えていきたい。 ・とても中身の濃い研修だった。仕事としてというより母として妻としての立場でも参考になった。 ・リスカ、オーバードーズ、依存をしようとする生徒の心のメカニズム心理状態や対応方法を知ることができた。 ・リスカをしている生徒にただ切っはダメという言葉の掛けかけやわかったような態度で接することもNGであることがわかった。	
川崎市	2月28日(木) 10:00~11:30 川崎市立宮内小学校	学校保健委員会	52名	生活習慣を向上させる心のモチベーション	長谷川 幸子(助産師)	狙い通りの効果がやや認められた	50名 (96.2%)	20代 2名 30代 20名 40代 25名 50代 1名 60代 1名 無回答 1名	2名 男性 49名 1名 女性	校長 その他	1名 49名	ある ない 無回答	3名 47名 1名	1回 3回	2名 1名	少しある やや不足 全く不足	8名 9名 33名	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 無回答	3名 36名 8名 3名	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならない 全く参考にならない 無回答	6名 40名 0名 1名 3名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない	18名 27名 4名 1名	・子どもの自己肯定感を育てることの大切さを改めて感じました。 ・中2(男)、小5(女)の子供がいるののためにになりました。2人ともが、たまに「死にたい」と悩む時もありました。びっくりしました。これからも、なるべく時間を作って話を聞いてあげよう、何かアドバイスが出来たらいいなと思いました。 ・自殺予防についての知識がほとんどないので、もう少し詳しく知りたいと思いました。
相模原市	10月19日(金) 10:00~12:00 市立上溝南小学校	市立上溝南小学校 保護者	35名	自殺対策のために個人ができること 小学生の心の成長	精神保健福祉センター 職員 北里大学 医学部 精神科学 井上勝夫氏	ねらいどおりの効果が認められた	30名 (85.7%)	20代 0名 30代 11名 40代 18名 50代 0名 60代 0名 無回答 1名	0名 男性 0名 30名 女性	学級担任 生徒指導 担当 教育相談 担当 学年主任 養護教諭 校長 副校長 教頭 その他 無回答	0名 0名 0名 0名 0名 22名 8名	ある ない 無回答	1回 2回 3回以上 わからない	0名 0名 0名 0名	十分ある 少しある やや不足 全く不足 無回答	0名 1名 7名 22名 0名	非常に増えた 少し増えた 変わらなかった 無回答	5名 24名 0名 1名 0名	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考にならない 全く参考にならない 無回答	12名 18名 0名 0名 0名 1名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要ない 全く必要ない 全く必要ない	16名 13名 0名 0名 0名 1名 0名	・若年層の自殺が多いことに驚いた。未来への希望が求められているのではないかと思った。 ・ゲートキーパーになれるかどうか分からないが、私なりに手を伸ばしてみたいと思った。 ・自殺は誰にでも起こり得ることなので、知識があると良いと感じた。 ・井上先生の話がとてもためになった。参加してすごく良かった。 ・思春期が心配だったので、井上先生の話聞いて少し心がまえができた。	

実施機関	日時・場所	受講者 (依頼元)	受講人数 (実績)	テーマ	講師	アンケート結果(様式2、3)													
						講座の効果 (主催者評価) ※様式2	回収数 (回収率)	受講者年代 ※様式3 Q1	受講者性別 ※様式3 Q2	受講者役割内訳 ※様式3 Q3	自殺研修 参加の有無 ※様式3 Q4	自殺研修 参加の回数 ※様式3 Q5	自殺に関する 知識 ※様式3 Q6	研修受講後の 知識の向上 ※様式3 Q7	研修の効果 (研修は参考になったか) ※様式3 Q8	今後についての 学習意識 ※様式3 Q9	研修に関する御意見・感想 (抜粋) ※様式3 Q10		
相模原市	12月5日(水) 10:00~12:00 市立若草小学 市立若草小学 保護者	市立若草小学 保護者	23名	自殺の現状 小学生の心	精神保健福祉センター 職員 北里大学 医学部 精神科学 井上勝夫氏	ねらいどおりの 効果が認め られた	22名 (95.7%)	20代 0名 30代 14名 40代 8名 50代 0名 60代 0名 無回答 0名	男性 0名 女性 22名	学級担任 0名 生徒指導 0名 担当 0名 教育相談 0名 学年主任 0名 養護教諭 0名 校長 0名 副校長 0名 教頭 0名 その他 20名 無回答 2名	ある 3名 ない 19名 無回答 0名	1回 1名 2回 0名 3回以上 1名 わからない 1名	十分ある 0名 少しある 4名 やや不足 5名 全く不足 13名 無回答 0名	10名 非常に増えた 12名 少し増えた 0名 変わらない 0名 無回答 0名	非常に参考になった やや参考になった ほとんど参考になら ない 全く参考にならない 無回答	15名 6名 1名 0名 0名 0名 0名	とても必要である やや必要である ほとんど必要な い 全く必要ない 無回答	17名 5名 0名 0名 0名 0名 0名 0名 0名 0名	・相談先がわかった。 ・不幸にも命を落とす子供が1人でも減るように、この学 びを活かしていきたい。 ・自殺に関する学びがどんなに重い話なんだろうと思っ たが、子供の精神的成長の過程などを聞いて参考に なった。 ・井上先生のお話がとてもおもしろく、ためになったので もっと聞きたかった。